



トヤス沢本流(下降) 1985年8月3日
L

13:15下降開始。花崗岩質の岩のつらなる下りである。トヤス沢の流域はすべてこんな感じのようだ。ぐんぐん高度を下げてゆくのだが、滝は出てこない。これもまた平凡な沢である。

そのうち出てくるかもしれないと、むなしい期待を抱きながらドンドン下る。やがて右岸から土石の押し出した沢が合流する。このあたりまでくると、もう傾斜もゆるやかとなって、花崗岩の岩がゴロゴロするだけの河原をただひたすら下るだけとなった。

15:05林道が左岸に見えてきたので、沢から上がり、下降終了とする。
(記)

[タイム] 下降開始(13:15)→右俣出合(14:05)→下降終了(15:05)

十左衛門沢左俣 1985年8月3日
L

トヤス沢出合の幕営地から40分程林道を歩く。トヤス沢本流にそって奥にのびる地図には出ていない林道の橋から入谷。

ずっと花崗岩質の岩がゴロゴロした中を進む。15分で右沢出合。河原が続くだけでずっと滝は出てこない。ハズレの沢だと文句をいいながら左沢にルートをとって先に進む。

やがて右岸に小さな岩場が見えてくる。小休止していろいろ意見を交わしたが、どうもこのまま終わりそうだということになった。

それでも、何とか滝が出てこないものかと先に進んだが、何もないままに源頭となり、カレ沢となって、最後はうすいヤブコギ10分程で2033m独標頂上に到着した。(記)

[タイム] 出合(7:55)→右沢出合(8:10)→沢終了(9:30)→稜線(9:40)

十左衛門沢右俣 1985年8月4日
L

トヤス沢左岸の林道を約1時間進むと、林道はやがてつづら折れに高度をかせぎ、三叉路となる。左に入るとすぐに十左衛

